

2015 年を迎え / 理事長年頭のあいさつ

医療法人 横浜博萌会
理事長 高木啓吾



新年明けましておめでとうございます。あなたと共に新春を迎えられたことを共に慶びたいと思います。あなたは、今年1年、どんなことに夢中になるのでしょうか。コンピューターのアップル社の創設者の一人である故スティーブ・ジョブズ氏(1955-2011)は、「あすを夢見よ、そして今を進め」と言いました。そう、「とき」を得ることができたら自己の目標が肝心です。コンピューター頭脳がどんなに優れていても、人格のあるあなたの行動をコントロールされてはいけません。

さて、年頭にあたり、日頃気になっているコミュニケーション法についてお話したいと思います。

コミュニケーションの一つとして私たちが多用している電子メールは、相手のペースを崩さずに伝達できる優れたツールです。しかし、そのメール内容が複雑だったり、相手に即断してもらわなくてはならない場合には、使用は控えるべきと思います。自己ペースで一方通行で発信するあまり、相手に混乱や誤解を招く場合もあるからです。

最悪なのは、相性の合わない人への電子メールです。心が通わない文章のために、コミュニケーションは成立せず事態は複雑化してしまいます。

コミュニケーションは、基本的に心の通ったアイ・コンタクトであることを認識しておきたいと思います。時には、ボディー・ラングエッジも使わなくてはなりません。

高齢化社会を迎え、当院では昨年ひき続き病院変革をしています。安心で安全な医療が受けられるよう院内体制を流動的に変化させてきています。過去の体制とのひずみは、必ずあるものですから、不都合なこと、不安なことは文字ではなく声に出してお話してください。自分の考えを他人に正確に伝えること、そして他人の意見を直接聞くこと、これが議論の基本であることは言うまでもありません。あなたと一緒に「信頼ある病院」を創ろうと思っています。

今年は一ツじ年です。羊に「示す偏(しめすへん)」をつけると、祥(しょう)となり、「喜び、幸い」を意味します。今年1年、心の通ったコミュニケーションで、あなたと歩む医療を実践することを目標に掲げ邁進しています。どうぞよろしくお願ひします。

2015 年 元旦